

竜の子新聞

第19号

市政報告
発行 **あらき竜二**
倉敷市日吉町 476-4
TEL: 086-422-7747
FAX: 086-441-5377
✉: info@ryu2.biz
http://www.ryu2.biz/

令和7年度12月補正予算の概要

今回の補正予算は、国の制度改正に伴う経費や早急に対応が必要な経費等を中心に計上しています。

補正予算の主な事業

【市長公約】産後ケア事業

事業費1171万円

対象施設の増加や利便性の向上により利用者が見込みを上回るため、委託料を追加します。



【市長公約】通学支援事業

事業費13万円

債務負担行為1103万円

令和8年4月に開校する下津井学園の通学支援用車両の運行業務を委託します。



【拡大】スクールバス運行事業

債務負担行為1622万円

児童生徒数増加に伴い、令和8年4月から倉敷支援学校送迎用スクールバスを1路線追加します。



【ごみの適正処理・減量・リサイクル啓発事業】

事業費300万円

リチウムイオン電池等に起因する火災が全国で発生していることから、適正な分別や排出を促す啓発を強化します。



防災危機管理センターの完成について

【令和8年1月業務開始】概要

防災・災害対策機能強化の早期実現に向け、本庁舎敷地内に、防災・災害対応の拠点として整備

建物概要

・鉄筋コンクリート造、地上3階建
・延べ面積約6200㎡

・免震構造(柱頭免震)を採用
・電力等のエネルギー消費量が50%以上の省エネとなるZEB Readyの認証を取得



外観は本庁舎と同じ白壁とレンガタイルのデザインで、震度7クラスの大地震に耐えられる免震構造を採用。

1階は会議室と水道料金の窓口、防災資材倉庫。災害時には自衛隊や他自治体から派遣される職員の活動拠点にする予定。2階は浸水の危険性が低いため、災害対策本部室、消防局、防災危機管理室。3階は水道局を置き、屋上には、高圧電流を低圧に変えて業務で使えるようにする受

大規模災害にも対応できる強靱な庁舎

【業務開始日】
防災危機管理室
水道局
消防局

R8年1月13日(火)
R8年1月13日(火)
R8年2月2日(月)

災害対策本部室や消防局、水道局を浸水被害の危険性がない2階以上に配置

地盤を締固める液状化対策を実施
浸水想定高さより高い位置に免震装置を設置

全体業務開始日 令和8年2月2日(月)



変電設備や非常用自家発電装置を設置。いずれも本庁舎地下にある現設備・装置を更新しています。

岡山県へ意見書を提出しました。

昭和 water 門の早期の機能復旧及び河川管理の適切な実施を求める意見書について

R7 年 8 月、岡山県が管理する防潮水門・昭和 water 門（玉島阿賀崎地内）が損傷し、里見川に海水が流入、周辺農地で塩害とみられる被害が発生しているとの報道がありました。

昭和 water 門は昭和 50 年の供用開始で老朽化が進み、この約 20 年間で平成 14 年、平成 20 年、平成 29 年、そして今回の損傷と計 4 回の海水逆流を発生させています。特に今回、県が速やかに止水できなかったことや、本年 6 月に water 門ゲート故障が発生していたにも関わらず、倉敷市には知らされていないかったことにより、浸水被害への備えとしての昭和 water 門の防災機能について、周辺住民に大きな不安が広がっています。

また、里見川及び道川に
 ついては、問題は昭和 water 門だけでなく、河道の土砂堆積や樹木繁茂^{はんも}による流下能力の低下で浸水被害の危険性が増しており、県民の生活が脅かされています。



【意見書を提出】

遠藤康洋岡山県議会 議長
 （右から二番目）

昭和 water 門外観



左岸側ゲート異常箇所



農業被害が確認されている地域

今回の事案を重く受け止め、県民の安全・安心を守るため、①農地への影響について速やかに現状を把握し早急に支援策を検討・実施するとともに、農作物の被害状況について丁寧に地元と話をし、原因調査を行い、迅速かつ十分な補償を行うこと②昭和 water 門について、至急、確実な応急止水防止策を講ずるとともに、繰り返し海水流入を起している現状を鑑み、早期に十分な遮水機能を備えた施設に更新すること③里見川及び道川の河道掘削や樹木伐採を適切かつ定期的に実施し、十分な流下能力を確保すること④里見川及び道川の堤防の補強・嵩上げを実施するとともに、雑木・雑草が繁茂しないよう適切に管理すること
 以上、4 件について、岡山県へ意見書を提出しました。

国土交通省へ要望しました。

酒津地先の堤防強化及び
かさいぜき
笠井堰左岸堰の可動化について

高梁川の酒津地区における堤防強化並びに笠井堰左岸堰の部分改築が事業化となり、R7年4月には、国土交通省から同区間を重点投資により河川整備を行う「緊急対策特定区間」に指定されました。

酒津地区にある笠井堰は、大部分が固定堰であることから、洪水時の流れを阻害し水位を上昇させる要因となっております。加えて酒津地区の左岸堤防は、堤防断面が不足する等、安全性が不足しており、当箇所の堤防が決壊すれば、浸水区域は倉敷市中心部から岡山市や早島町まで及び、多くの住民の生命・財産に危険が及ぶため、酒津地区周辺及び上流の沿川地区の治水安全度向上を図るために、酒津地先の堤防強化の一日も早い完成と河積阻害による流下能力の低下を解消するため、笠井堰左岸堰の残りの区間の可動化についても早期事業化を要望しました。



【要望書を提出】



【洪水時の状況】



【平常時の状況】

塩見英之 国土交通審議官
(左から二番目)

【酒津地区周辺】

事業内容：浸透対策（堤防断面拡大・押さえ盛土等）、
浸食対策（高水敷整備）笠井堰部分改築等



事業期間：令和7年度～令和16年度（10年間） 事業費：約210億円

水島港の整備促進について

水島港は、我が国の基幹産業を構成する大企業が集積し、国の経済活動を支える重要な生産・物流拠点となっており、国内で唯一、穀物と鉄鉱石の2品目で※国際バルク戦略港湾に選定されています。

水島港の国際競争力をさらに強化していくためには、大型船舶による穀物の一括大量輸送を可能とする港湾整備や、東南アジア向け国際コンテナ貨物の増加による船舶の大型化への対応が急務になっていきます。



国際バルク戦略港湾の整備
塩生埠頭（現況水深14m）
（令和3年度公共化）
現況：棧橋延長185m
望：棧橋延長 320m

港湾の整備
水深12m
公共化 14m

水島東部新築
水島西部新築

の輸入拠点として、
を目指す港湾

このような港湾整備により、食糧の安定的かつ安価な輸入の実現や、水島港周辺に立地する基幹産業の物流コストの縮減を図り、各企業の連携とともに国際競争力を一層強化するために

① 国際バルク戦略港湾水島港の整備促進

② 玉島東航路の整備促進
(水深12m→14m化)
(水深を10m→12m化)
について要望しました。



※国際バルク戦略港湾とは、ばら積み貨物（バルク）の輸入拠点として、安定的・安価な輸入の実現を図るために重点的に整備を目指す港湾

『編集後記』
(2026年)

去年は私にとって忘れられない年になりました。

5月に父が亡くなりました。人生の先輩として道を示してくれた父が今でも居間で座っているような気がします。

倉敷市議会議長に就任させていただいたことを父は何より喜んでくれました。何度も聞いてきた「竜ちゃんは議長になったんかのお？」その声は今も聞こえてきます。議長という仕事は実に重責です。議会の円滑な運営、他県との議案のすり合わせ、国への要望書の作成など多岐にわたります。特に、要望書については豪雨などへの水害、防災対策も含めて、重点的に作成させていただきました。河川管理は私たちの生活を支える土台のような事業であり、土台がしっかりしてこそ、安心、安全に過ごせると思います。

また個人的にはJR山陽本線倉敷駅付近連続立体交差事業を推進出来ればと考えています。駅の北と南をつなぐ事業は流通においても市や地域にとって有益だと思っています。

地域と市政を「つなぐ」この信念を腹の真ん中に据えて、一步一步進んで参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

あらま竜二